

議会だより だいせん

62号

2020年10月29日発行
鳥取県大山町議会

決算をすべて認定 2

11人が一般質問 16

事務事業評価を始める 30

梨シーズン到来

9月
定例会

www.daisen.jp/gikai/

大山町議会

検索



見直しを求め決議

令和元年度決算は認定

9月定例会を、9月4日から25日までの22日間の会期で開き、9月7日には、決算審査特別委員会を設置して令和元年度一般会計および各特別会計決算を分科会ごとに審査を行ないました。また令和2年度補正予算や条例改正などを審議しました。

その結果、令和元年度決算15議案を認定しました。また条例改正など6議案と令和2年度補正予算9議案を原案通り可決しました。

機構改革で観光部門と商工部門が別組織になり、業務遂行に不都合が見られたため、見直しを強く求める決議文を提出しました(関連11ページ)。



友好館の指定管理

友好館の運営を地域自主組織「楽しもなかやま」に指定した

325万円



冬季モニターツアー

町民が町内施設に宿泊・体験する商品セットのツアー

1320万円



町民スキー誘客事業

町内の18歳以上対象に1日リフト券1度目半額、2度目無料とする

2415万円

**令和2年度に
追加する主な事業**

9月
定例会

機構改革の

令和元年度に 行われた主な事業



地域自主組織の支援

地域自主組織が新たに3地区で設立され
全10地区で組織された

3239万円



こうれい上屋付多目的広場

老朽化した高麗体育館を解体し
令和2年度に完成した

4136万円



小・中学校の空調設備

大部分未設置だった大山小と大山西・
中山小・名和中にエアコンが設置され
全教室に配備された

6015万円



シルバー人材センター

高齢者のキャリアを生かした
地域活動への支援

450万円

町の財政状況 どげんなつちよる

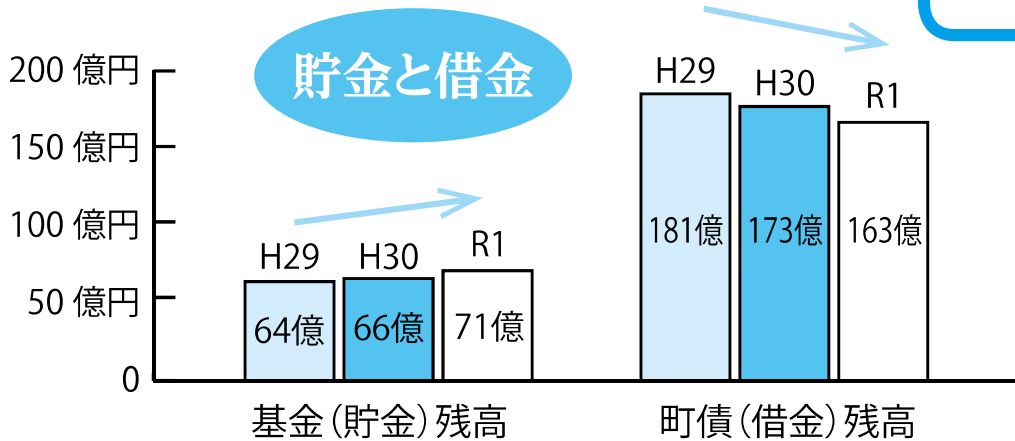
令和元年度一般会計の決算は、歳入総額116億8222万円(前年度比6億6332万円の増)、歳出総額112億6539万円(前年度比3億5191万円の増)となりました。

また、基金(貯金)残高は、一般会計が58億8306万円、特別会計が11億8729万円で、前年度に比べ、両会計を合わせて4億3001万円の増となりました。

町債(借金)残高は、一般会計が100億121万円、特別会計と水道事業会計が62億7910万円で前年度に比べ両会計を合わせて3億7702万円の減となっています。

※1 経常収支比率は92.9%と前年度比1.3ポイント悪化しました。

※1 経常収支比率とは
財政構造のゆとりの度合いを判断する指標。町税などのように使い道が特定されず、経常的に入る一般財源のうち、経常的な支出の割合です。



○基金(貯金)の残高内訳

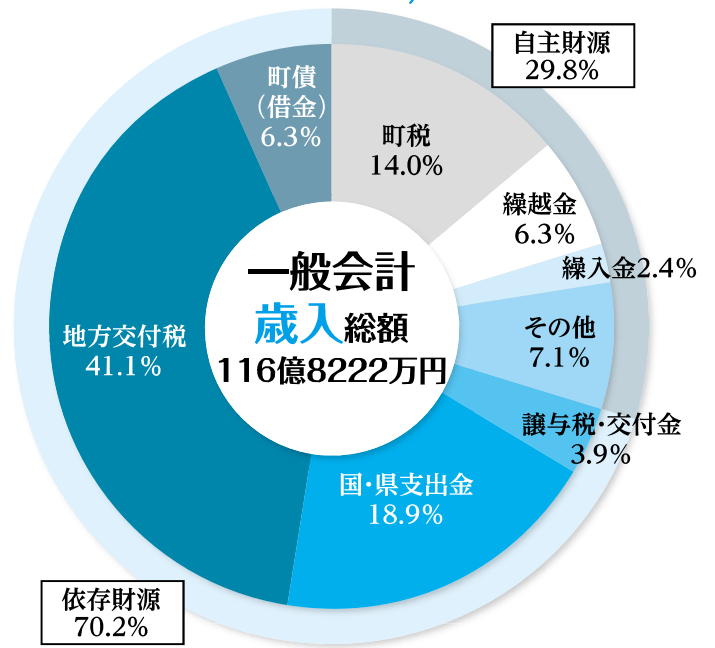
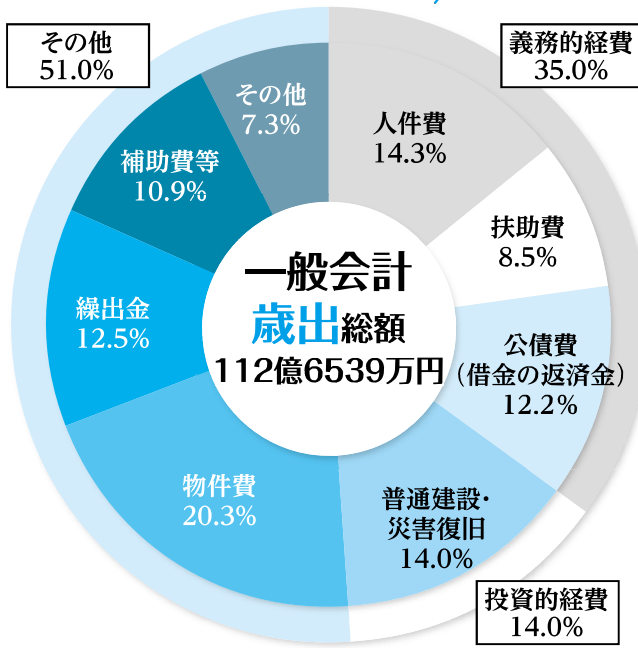
会計名	元年度末現在高	30年度末現在高	増減額
一般会計	58億8306万円	59億233万円	△1927万円
特別会計	11億8729万円	7億3801万円	4億4928万円
合計	70億7035万円	66億4034万円	4億3001万円

○町債(借金)の残高内訳

会計名	元年度末現在高	30年度末現在高	増減額
一般会計	100億121万円	105億9963万円	△5億9842万円
特別会計	54億4251万円	57億5500万円	△3億1249万円
企業会計(水道事業)	8億3659万円	9億112万円	△6453万円
合計	162億8031万円	172億5575万円	△9億7544万円

使ったお金

入ったお金



項目		令和元年度	30年度	比較増減	説明	
歳入	自主財源	町税	16億3476万円	16億1432万円	2044万円	町民税などみなさんが直接町に納められるお金
		分担金ほか	8億537万円	6億4701万円	2億378万円	分担金・使用料及び手数料・財産収入・寄付金
		繰越金	7億2824万円	6億1428万円	1億2132万円	前年度からの繰越金
		繰入金	2億8476万円	2億8173万円	311万円	特別会計や基金から繰り入れるお金
	依存財源	譲与税・交付金	4億5829万円	4億2199万円	3630万円	市町村の均衡をはかるために国が交付するお金
		地方交付税	48億1659万円	48億8117万円	△6458万円	市町村の均衡をはかるために国が交付するお金
		国・県支出金	22億689万円	18億9069万円	3億1776万円	国や県が使用目的を特定して交付するお金
		町債(借金)	7億4730万円	10億270万円	△2億5540万円	町が事業を行うために借り入れるお金
合計		116億8222万円	118億7558万円	3億8273万円		
歳出	義務的経費	人件費	16億1859万円	16億722万円	1138万円	職員の給料や議員報酬などに使うお金
		扶助費	9億5961万円	9億797万円	5164万円	医療費・児童手当などに使うお金
		公債費(借金返済)	13億6902万円	13億4212万円	3403万円	町の借金を返済するためのお金
		投資的経費	15億7986万円	13億6837万円	2億1280万円	道路整備・建物などの建設、災害復旧に使うお金
	その他	物件費	22億9080万円	21億8690万円	1億1131万円	賃金・業務委託料・消耗品・備品購入に使うお金
		補助費等	12億2857万円	13億4034万円	△1億764万円	補助金・負担金、自動車や建物の保険料、謝礼金など
		積立金	6億5865万円	2億5583万円	4億1249万円	町の基金に積み立てるお金
		繰出金	14億343万円	14億4665万円	△2551万円	他の会計に繰出金として支出するお金
		その他	1億5682万円	1億6558万円	△876万円	施設の維持補修費、貸付金・出資金などに使うお金
		合計	112億6539万円	112億6131万円	6億9174万円	

一目でわかる 審議結果

7・8月臨時会
9月定例会
提出議案

○賛否の分かれた議案

○は賛成、×は反対あるいは保留、棄は棄権、欠は欠席

7月臨時会																	
議案	氏名	森本貴之	池田幸恵	門脇輝明	加藤紀之	大原広巳	大杖正彦	米本隆記	大森正治	野口昌作	近藤大介	西尾寿博	吉原美智恵	岡田聡	野口俊明	西山富三郎	結果
工事請負契約の締結について(大山町保健福祉センターだいせん吸収式冷温水機更新工事)		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成14人 可決
工事請負契約の締結について(中山中学校大規模改修工事)		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成14人 可決
財産の取得について(大山町立小中学校情報機器整備事業)		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成14人 可決
令和2年度大山町一般会計補正予算(第7号)		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成14人 可決

8月臨時会																	
議案	氏名	森本貴之	池田幸恵	門脇輝明	加藤紀之	大原広巳	大杖正彦	米本隆記	大森正治	野口昌作	近藤大介	西尾寿博	吉原美智恵	岡田聡	野口俊明	西山富三郎	結果
工事請負契約の締結について(大山町立小中学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成14人 可決
令和2年度大山町一般会計補正予算(第8号)		○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	欠	賛成12人 可決
令和2年度大山町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成14人 可決
令和2年度大山町水道事業会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成14人 可決

9月定例会																	
議案	氏名	森本貴之	池田幸恵	門脇輝明	加藤紀之	大原広巳	大杖正彦	米本隆記	大森正治	野口昌作	近藤大介	西尾寿博	吉原美智恵	岡田聡	野口俊明	西山富三郎	結果
大山町小規模保育所条例の制定について		○	×	×	○	○	○	○	棄	○	○	○	○	×	○	○	賛成11人 可決
令和元年度大山町一般会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	賛成13人 認定
令和2年度大山町一般会計補正予算(第9号)		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	賛成13人 可決
核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての請願		×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	賛成5人 不採択
国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める請願		×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	賛成1人 不採択
検察官の定年延長に係る閣議決定の撤回についての陳情		×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	賛成3人 不採択

○全会一致で議決した議案

9月定例会 条例(3件)、決算認定(14件)、補正予算(8件)、工事請負契約(1件)、発議(1件)、決議(1件)
議案の議決は、杉谷洋一議長を除く15人で行います。

チエツクします

9月定例会

議案の 質疑 討論

一般会計決算 質疑

固定資産税

〔門脇議員〕固定資産税3816万円増の理由と滞納対策は。〔事務課長〕太陽光発電の償却資産が増額要因である。滞納対策は、面談を行い資産があれば差し押さえを実施している。

農産物処理加工施設

〔大杖議員〕施設の建物火災保険料が高額な理由は。〔事務課長〕総務課が管理する建物すべての保険料である。

自主組織へのふるさと応援基金

〔大森議員〕地域自主組織ごとへの寄付金に差がでているが。〔企画課長〕課題はありと考えているが、各団体の協議も必要で最終的な調整に時間がかかる。

地方バス路線の課題

〔野口俊議員〕公共交通の現状把握と課題は。〔企画課長〕継続的に検討はできていない。

移住定住促進事業

〔岡田議員〕補助金および交付金の概略は。〔企画課長〕移住後にし、定住を促すもの。

しっかり守る農林基盤交付金

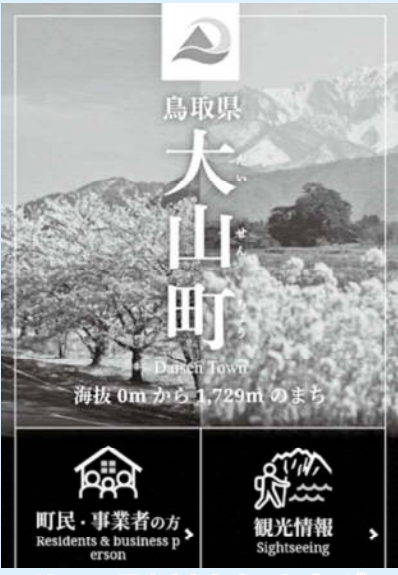
〔西尾議員〕事業要望を把握する手段は。〔農林水産課長〕区長

携帯を使った観光調査

〔森本議員〕大手携帯電話会社のシステムを活用し取得したサンプルは、今後の観光施策へどう生かすのか。〔観光課長〕県の観光連盟などと協議しながら、本町の観光がどうあるべきかというの力は強く進めていきたい。

広報事業

〔近藤議員〕広報室が設置されたが、町民へのメリットは。〔事務課長〕ホームページの更新で町民の要望に対応した。また、外国語対応した。各種事業は、各担当課がホームページにアップしている。〔池田議員〕満足度調査を行うとのことだが調査方法は。〔事務課長〕予算の都合上、満足度調査はやっていない。今後検討したい。



リニューアルされたホームページ

日本遺産サミット参加費

【森本議員】当初予算の目的と事業成果が異なる報告だ。積極的な誘客は、はかられたのか。シなどで誘客に努めた。

1300年祭の総括

【西尾議員】大山開山1300年祭の総括の認識と、今後の事業展開は。

山香荘と旅館組合の連携

【岡田議員】宿泊業を廃止したが、大山旅館組合との連携は。また、合宿の誘致は。



宿泊が廃止された山香荘

大山参道市場

【岡田議員】指定管理料が高額であるが、決算はどうなっているのか。

観光ガイドの養成

【吉原議員】ガイド養成事業の実績は。

一般会計全般

【加藤議員】適切に執行し、施政方針は達成できたか。

【町長】施政方針は方向性である。それに向かった一年であったと考える。

【吉原議員】経常収支比率がまた上がっている。

【町長】どうしても経常収支比率は、高止ま

討論

【反対…近藤議員】経常収支比率が92.9%と、合併以来過去最悪の数字だ。無計画に職員採用が行われるなど、トップダウンによる行政運営の弊害も目立ってきている。

【反対…大森議員】一連の子育て、福祉や健康、暮らしに関わる施策は評価する。しかし、地区活動補助事業は部落差別解消に逆行している。旧態依然の同和対策事業を持つ一般会計決算は認定できない。

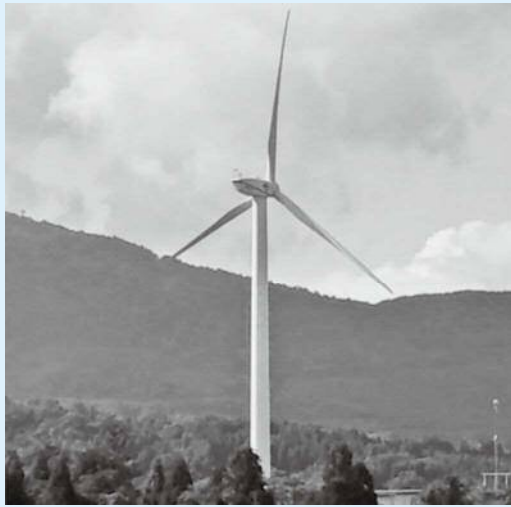
【賛成…西山議員】予算も決算も大山町の未来を作るブランドデザインだ。持続可能なまちづくりであったということを認め、この決算に賛成する。

【賛成…門脇議員】予算の目的に従い適正に執行、処理されているか否かを審議するものと考え、決算審査委員長の報告には不適切な処理は指摘されていない。認定すべきである。

【賛成…岡田議員】同和対策事業は、差別が存在する限り必要である。さまざまな施策を総合的に考えて賛成する。

質疑

特別会計決算



償還を終えた太空海号

国民健康保険診療所

〔近藤議員〕健全経営のために医療費収入の動向もふまえたうえで計画を策定すべきではないか。

〔健康対策課長〕大山診療所は策定した。ほかの診療所についても策定していきたい。

風力発電事業

〔大森議員〕償還は終了したが、耐用年数経過後の解体費用は。

〔企画課長〕今後積み立てていく。あわせて解体方法も検討し進めていく。

条例の制定

討論

小規模保育所条例の第5条に「指定管理者による管理」が含まれたことにより、賛否が分かれました。



小規模保育所条例

〔反対…大森議員〕直営での運営が基本と考える。指定管理者に管理を委ねると本町独自の保育教育体制が揺らぎかねない。

当面は直営で運営するということがならば、指定管理者による管理という条項は必要ないと考える。

〔賛成…加藤議員〕あくまでも可能性の条例である。特に問題になる条例だとは思わない。

〔反対…池田議員〕本町の保育所では、教育理念にもとづいた指導で小学校につながっていく。この小規模保育所だけに指定管理者に出せる条項が含まれるのは疑問を感じる。

〔賛成…大杖議員〕民間の活力を生かすこと

が大前提である。これからは官民の協力を得た形の運営が望ましい。不足であれば議会でも反対すれば良い。

〔反対…門脇議員〕教育理念の充実、具現化するための大切な幼児期の教育を民間に運営管理を委ねることは、本町教育の大枠を崩す。経費削減のための指定管理の条例に反対である。

〔賛成…西山議員〕国連の人権規約にのっとり、子ども一人ひとりを大事にしようとする条例である。

〔賛成…西尾議員〕指定管理に出すときは議論ができる。安くて良いものをもとめ、経費削減を考えるのは当然である。

〔賛成…大原議員〕指定管理の話をも6月の教育民生委員会で聞き賛否両論、いろんな意見が出た。町長は、1年目は直営で運営とはっきり言っている。



工事が始まる小規模保育所

質疑

補正予算

夕陽の丘グラウンド調査

〔門脇議員〕人工芝グラウンド調査の必要性は。
〔観光課長〕地盤がずれ、5センチの段差ができているため。

住宅新築を奨励

〔近藤議員〕奨励期間が短い。住民が取り組みやすいように間口を広げ工夫も必要ではないか。
〔企画課長〕今年度の事業として実施することは意義があると考えている。

冬季モニターツアー

〔西尾議員〕スキー誘客事業と組み合わせるとのことなのか。
〔観光課長〕組み合わせる事業ではない。
〔池田議員〕夏期のモニターツアーのアンケートやSNS発信の効果はどうだったのか。データ集計もまだ出ていないが。
〔町長〕数十年前の大山観光のイメージを新たなイメージに置き換えてもらうためのもの、細やかな発信方法は考慮していきたい。

名和トレセンの修繕

〔野口昌議員〕修繕内容は。
〔社会教育課長〕競技場の飲用水を送水するポンプの修繕である。

スクールバス消毒を委託

〔野口俊議員〕消毒委託費業務の詳細は。
〔幼児・学校教育課長〕10月1日に契約し、4月から町長の指示で行った消毒作業が対象である。
〔岡田議員〕さかのぼっての支出は適切な会計処理なのか。
〔総務課長〕非常事態の会計処理に該当すると考える。

ドライブレコーダー設置補助金

〔池田議員〕設置条件は。また、既に設置された人は、対象となるのか。
〔企画課長〕条件を使用者が町民であることに拡充した。7月1日以降に設置された人が対象になる。ただし事業車両は対象外である。
〔近藤議員〕「ドライブレコーダー設置車両」のシールは配布しないのか。
〔企画課長〕今後、検討を進めていきたい。

ゴミ分別アプリ

〔加藤議員〕このアプリは、どのようなものか。
〔住民課長〕ゴミの分別情報や、収集日が確認できる。

町民スキー誘客事業

〔加藤議員〕スキー場だけが潤う事業で、税金の有効な使い方ではないか。
〔観光課長〕まず町民にスキーを楽しんでいただくたい。
〔西尾議員〕ホワイトリゾートの収益の改善というが、雪がなければ経営改善はできない。
〔観光課長〕雪があることを大前提で考えている。



1度目は半額、2度目は無料になる

これ以上は看過できまない

決算は認定するも決議を提出

決算審査特別委員会

決議案を提出へ

付託を受けた15議案は、9月9、10、11、14日に各分科会で審査を行い、18日には委員全員で審査を行った。

審査の結果、付帯意見を付け全議案を認定した。

また、観光・商工業務の統一を求める決議案を提出することとした。

付帯意見

令和元年度に総務課内に広報室が設置されたが、情報発信はまだまだ不足している。また、健康対策や高齢者施策などの周知不足も懸念される。

広報室と担当課が連携し、対象者に合った周知を行うなど、きめ細かい対応をされたい。

観光・商工業務の統一を求める決議（抜粋）

平成30年度決算審査においては、機構改革の弊害を受け「行政機構改革の見直しを求める決議」を提出し、可決した。

しかし、観光振興と商工振興に関する組織機構の見直しは行われず、関係団体等への実害も発生し、これ以上看過できない状態となっている。

観光と商工とは密接に結びつかなければ振興につながらないばかりか、場合によってはそれぞれの発展を阻害することもあり得る。

したがって、本議会は次のとおり町長に求める。

「観光と商工に関する業務は同一課で所管するよう直ちに見直し、観光商工業の振興に努力されたい。」

監査委員の指摘と意見

代表監査委員 石黒 澄男
議会選出監査委員 西山富三郎

〔指摘事項〕 引き続き遵守を

平成29年度に指摘した完了検査の実施日については改善されており、今後も遵守されたい。

〔監査意見〕

報酬にともなう事務処理

農業委員会の委員報酬の事務処理は、「当該作業の非電算化にともなう事務処理ミスの懸念」、「内部のチェック体制の充実」を視野に検討されたい。

過年度未収金

長期にわたり、過年度未収金が同額のまま計上されている案件があるが、具体策を講じられたい。

機構改革

機構改革によるメリットとデメリットが明らかになってきているようなので、参考にされたい。
なお、組織内での広範で慎重な議論のもと行うよう留意されたい。

地区活動への補助金

地区への補助金支出は一律の基準が必要とは考えないが、話し合いなどによる平準化、標準化に努めることは継続されたい。

人事異動

人事異動は過去の誤りを発見する機会である反面、新たなミスも起きやすいため、注意されたい。

事務事業評価

事務事業評価は、評価の結果と事業の存廃が結びつく手法に見直されたい。



町長に意見を伝える代表監査委員

みなさんからの**請願・陳情**はこうなりました

9月定例会で審査した請願・陳情の結果を報告します。

題名	提出者と請願・陳情内容	付託した委員会の意見・結果	本会議採決結果
核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての請願	原水爆禁止鳥取県協議会 理事長 山上 英明 紹介議員 大森 正治 1. 日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に調印し批准することを求める意見書を提出されるよう陳情します。	(総務常任委員会) 批准することの是非については意見は出たが、閣議決定に対し、地方議会がもの申す立場にはない。 採決の結果、全会一致で不採択と決した。	不採択
国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める請願	新日本婦人の会鳥取県本部 会長 山内 淳子 紹介議員 大森 正治 1. 子どものいのちと健康を守り、成長と発達を保障するため、緊急に20人程度で授業ができるようにすること。そのために教職員増と教室確保を国の責任で行うこと。 2. 「20人学級」を展望し、少人数学級を実現すること。そのために国は、標準法を改正し、教職員定数改善計画を立てること。	(教育民生常任委員会) 少子化が進むなか、鳥取県は既に「35人学級」を推進しているので、コロナ禍ではあるが、「20人学級」をめざすのは難しいものとする。 推進の意図は理解できるが、もう少し他の教育環境の充実に予算を使うべきという意見もあった。 採決の結果、採択1、不採択4で不採択とした。	不採択
検察官の定年延長に係る閣議決定の撤回についての陳情	倉吉市神殿129 足羽 佑太 検察官の定年にも一般法たる国家公務員が適用される旨の閣議決定は、検察庁法立法時の制度趣旨に反し、これを国会の議決も経ずに内閣の一存で変更した点、問題がある。貴議会から、地方自治法第99条によって、この撤回を求めているいただきたく陳情します。	(総務常任委員会) 陳情の趣旨は理解できる。しかし、閣議決定に対し地方議会がもの申す立場にない。 採決の結果、全会一致で不採択とした。	不採択

国へ提出する意見書

意見書名	意見書の内容(要旨)	提出先
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	1. 地方の安定的な財政運営に必要な地方税等の一般財源総額の確保・充実をすること。 2. 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能が適切に発揮できるよう、総額を確保すること。 3. 令和2年度の地方財政が大幅に減少することが予想される。地方消費税も含め、弾力的に対応すること。 4. 国税・地方税の政策税制は積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続にあたっては、有効性・緊急性等を厳格に判断すること。 5. 固定資産税は市町村の基幹税である。制度の根幹を揺るがす見直しは断じて行わないこと。	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 内閣官房長官 総務大臣 財務大臣 経済産業大臣 厚生労働大臣 内閣府特命担当大臣

9月定例会

常任委員会 の活動

総務 常任委員会

大山町議会では、常任委員会で議案や事務・事業などを分担し、より詳細な調査を行っています。

徴収率

Q 徴収率が向上している要因は。

A 滞納管理システムを活用した債権管理により、適時に催告書の送付や呼び出し、差し押さえなどを行った。

税務課

広報室

Q ホームページのリニューアルでどうなった。

A 見やすく使いやすい事は当然だが、外国語対応や情報発信の質の向上をめざしている。

総務課

公金取り扱い手数料

Q 公金取り扱い手数料とは。

A 各金融機関で公金の取り扱い1件につき10円（郵便局は1部30円）を支払っている。大口はJA西部、合銀、鳥銀で、総額246万円である。

会計課

御来屋地内の防火水槽



町負担で撤去する防火水槽

9月9、10、11、15日の4日間、所管する各課から令和元年度決算、2年度の補正予算などの説明を受け審査した。

事業者との意見交換会の中では大山町の公共交通は他町に先んじているが、今後も使いやすく収支改善がはかれる方法なども話し合った。

風力発電

Q 地方債の償還が終了したが今後は。

A 令和元年度の積み立て金は348万円、基金額は3042万円、使用耐久年度が令和7年である。解体を見越したさらなる基金の積み立てが必要になる。

企画課

結婚対策事業

Q 成果はあがっているか。

A 県によるマッチングサポート推進事業補助金の新設により「えんトリー」の入会登録の支援をした。令和元年度は1組の成婚があった。

企画課

ふるさと応援寄附金

Q 令和元年度も大幅に伸びているが基金は。

A 金額では9712万円の増、30.4%の伸びとなった。寄附額4億1678万円で、基金は4億960万円となった。

財務課

教育民生 常任委員会

母子保健事業

Q前年度比100万円増額の要因は。

A幼児食講習会、産前・産後サポートのアウトリーチ型、ペアレントサポートプログラムなどの新規事業を行い、充実をはかった。

こども課

保育所費

Q前年度比2500万円増額の要因は。

A入所者数や広域入所者数の増加。3歳以上児の保育無償化や10月以降は副食費の無償化により、現役世代の子育て負担の軽減をはかった。

幼児・学校教育課

集落支援員

Q高麗・大山分館では、それぞれ集落支援員が配置され、センター長の業務も兼務しているが、うまく機能しているか。

A集落支援を担いながら、センター長の仕事も、両方のことが把握でき調整しながら行っている。

社会教育課

大規模改修でよみがえる中山中学校



改修中の校舎を視察

9月9、10、11、14、23日の5日間、所管する各課から事業説明を受け審査した。

14日には、中山中学校大規模改修工事や退休寺集落の生活用水路、保健福祉センターだいせんの視察を行った。

水質汚染対策

Q河川水質・悪臭物質の測定は十分か。

A食肉センターの水質測定を追加した。測定回数は年1~2回と少ないが、何かあった時に現場確認をして原因を調査することが大事と考えている。

住民課

地区活動費補助金

Q昨年度指摘した地区活動費補助金は、64万円の減となっている。どう改善したか。

A日当の統一や補助対象の見直しなどをした。

福祉介護課

各種検診の受診率

Q各種検診の受診率が低下しているが。

A前年度は特定健診やがん検診の無料化を行った結果、検診率がぐんと伸びたが、令和元年度はその反動と思う。有効な広報など行っていく。

健康対策課

経済建設 常任委員会

非農地証明

◎荒廃地は本人申請で原野に戻してよいか。

▲場所により現状を確認し、農林水産課と協議して決定され、農業委員会が非農地証明書を作成する。

農業委員会

新規就農者

◎令和元年度は0人と減少しているが。

▲町外からの希望者に優良田畑が斡旋できない状況と、補助金を申請しない新規就農者がある。

農林水産課

ナラ枯れ

◎最近ナラ枯れが目立つが成果と対策は。

▲県が中心で行う事業、平成28年は2700万円、この3カ年は2400万円／年に対応している。害虫は大山町から西へ移動しているようだ。

農林水産課

地盤沈下で損傷したサッカー場



公式大会には日本サッカー協会公認が必要

9月9、10、11、15日の4日間、所管する各課から説明を受け令和元年度決算と令和2年度補正予算の説明を受け審査した。

15日は指定管理者へ運営委託された友好館と人工芝グラウンドの損傷が報告された神田にあるサッカー場を訪れ、実情と今後の対策を確認した。

道の駅観光交流センター

◎交流センターなど公益事業への委託料と収益事業にかかる経費の支払いは。

▲双方協議による。
小さな金額は受託先、施設修繕など大きな金額は委託元が支払う。

観光課

宅地造成

◎西坪地区に造成された宅地の販売状況は。

▲22区画中、1区画が売れている。

建設課

合併浄化槽

◎自前で設置した世帯の対応は。

▲区域外の世帯は合併浄化槽の対応となり、一定の条件で補助対象となる。

水道課

あなたの声を町政に

11人が町長・教育長・農業委員会
会長に一般質問を行いました。

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

コロナ対策で今議会は、60分間の制限時間を50分間としました。議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約しておりますので、臨場感ある本会議上での傍聴をお待ちしています。

一般質問席

ページ	質問事項	質問議員
17	1. 新型コロナに関する誹謗中傷から町民を守れ 2. 水産物流通回復支援事業について	加藤 紀之
18	1. 学校施設整備について 2. 移住を伴う年度中途の保育所入所申込対応について	森本 貴之
19	1. コロナ禍における高齢者の外出支援は 2. 地域自主組織の現状とこれからは	吉原 美智恵
20	1. 「これからの防災について」 2. 「経済の活性化」	西尾 寿博
21	1. GIGAスクールについて 2. 小規模保育所と保・小・中連携について 3. 地域密着型介護老人福祉施設について	門脇 輝明
22	1. さらなる新型コロナ対策を 2. 西部広域一般ごみ処理構想への考えは	大森 正治
23	1. 学校・保育所に加湿器を 2. 徴収対策について 3. 第5次大山町行財政改革大綱について	近藤 大介
24	1. 新型コロナウイルス感染症対策の更なる充実を 2. 就任当初の行政課題の達成度は。また、行政運営の評価は。	岡田 聡
25	1. コロナ禍における災害危機管理について 2. 幼児教育の方針について 3. 小規模農家農作業省力化支援事業について	大原 広巳
26	1. 農産物処理加工施設は 2. 町道の管理は 3. 町長の公約実現は	米本 隆記
27	1. 農業を守り、地方を守る政策を	野口 昌作

議事録は議会事務局や
議会ホームページで
閲覧できます

新型コロナウイルス感染者への差別を防ぐ

町長 方法を検討する



加藤 紀之 議員

〔加藤〕新型コロナウイルスに関する差別、誹謗中傷がネット上では散見される。日常でも、感染者の家への投石や悪質な張り紙が原因で、引越せざるをえない事例もあるようだ。

〔町長〕本町では、どのように町民を守るのか。〔町長〕ホームページや防災無線で注意喚起を行った。広報でも、うわさや憶測による書き込みは、偏見や差別につながる。恐れがあるという啓発記事を掲載した。また、被害にあわれた場合は町、県、法務省が相談窓口を設置している。



ネット上で散見される誹謗中傷

水産物の流通回復支援の効果は

町長 漁協活動の継続に効果があった

〔加藤〕新型コロナウイルス対応のため国から臨時交付金が入っており、町民や事業者に対しさまざまな支援策が講じられている。効果は配布された資料からも確認できる。

〔町長〕「水産物流通回復支援事業」では、どういう効果があったか。

〔加藤〕新型コロナウイルスの感染拡大で、組合員の水揚げ数量などに甚大な影響があった。そのため、組合員の負担軽減をはかりつつ流通回復の支援、漁協の事業継続を支援した。

〔町長〕提案は検討したいが、実害はゼロにはできないと考える。どのような方法があるか考えたい。



魚価の低迷を打破できるか

〔加藤〕議会で説明された内容と実際の交付額が違うのはなぜか。

〔町長〕予定として予算上したものだ。

〔加藤〕組合員の負担軽減ははかられたか。

〔町長〕手数料の値上げは回避できた。使い道については、チェックしていく。

校庭の芝生化を

教育長

前向きに検討する



森本 貴之 議員



劣化が進む校庭の改修を

【森本】学校施設の老朽化などは、限りある財源のなか計画的に進めることが大切である。
 改修などの必要がある場所は。
 【教育長】各学校共通して、照明のLED化、トイレの洋式化だ。改修、改築は20年の目安で劣化などが軽微な段階で予防保全策を実施する。

リットも多い。維持管理の諸課題が解決する見通しができれば、前向きに検討する。
 【森本】諸課題を解決する具体的なスケジュールは。
 【教育長】来年度、再来年度をめざして精査していく。
 【森本】改修や維持管理に対し、財源をどのように考えるか。
 【町長】学校施設整備交付金や過疎債など、有利な財源を活用する。

中途入所への対応は

教育長

有資格者を増やし対応する

【森本】保育所の入所申し込みを10月に行っている。新築して移住される人への周知は不十分だ。
 事前サポート体制の検討を。
 【教育長】入所申し込みは今後も同じ日程で行う。
 移住定住の相談の際にお知らせするなど広く周知をする。

【森本】10月以降に転入し、希望する保育所に入所できない事例もある。中途入所へ対応できるように検討を。
 【教育長】有資格者が確保できれば、年度中途中の入所に対応できる。また、来年度開設予



増える入所希望への対応を

定の小規模保育所で3歳未満児の受け入れ体制強化を行う。
 【森本】移住定住策とも関係は深い。子育て施策との連携を。

【町長】民間活力を生

かした住宅施策へ取り組んでいる。
 子育て施策としても、本町で保育に関わりたいた人材を確保できるような積極的に取り組む。



吉原 美智恵 議員

コロナ禍での 高齢者の外出支援は

町長 関係者と協議し検討する

【吉原】新型コロナウイルスの影響が続く、高齢者の外出自粛が長引いている。高齢者をめぐる調査で、社会的に孤立している人は体力低下や認知症・要介護になられる割合が高いというデータが多い。社会参加や人との交流がないと健康被害を招く。

【町長】外出されない一番の理由は外出先や公共交通の利用でコロナに感染しないか心配するためと考える。お買物券を活用する助成より、コロナ感染への住民不安を払拭（うす）めることが外出支援策になる。



町民が乗りやすく、便利な公共交通へ

【吉原】住民と行政との協働のまちづくりを推進するため設立されたが、地域の特色や実施策に大きな差が見られる。

【町長】成熟度や認知度に隔たりがあり、各地区で差があると認識している。

【吉原】平成30年度の

町長

必要な支援は行う

地域自主組織の 現状とこれからは



地域の課題解決へ行政とともに

定例監査で問題点の指摘があった。

自主組織が新たな公共の担い手として、育成していく責任は行政にもある。自助努力のみに住民福祉の向上を担わせることは、住民

の理解度・温度差など将来的に地域間格差につながるのではと危惧している。

組織の存在意義を高める委託事業の検討は、【町長】組織の意見を取り入れ支援する。



西尾 寿博 議員

これからの防災対策は

町長

強さとしなやかさを 持った防災に



感染症にも気を配る防災対策

【西尾】災害が起きにくいまちづくりをどのように考えているか。

【町長】県から助言をもらいながら「鳥取県西部町村国土強靱化地域計画」を西部7町村で進めている。

【西尾】避難所などで、感染症を念頭においた対策をはからなければならぬ。

どう考えているか。

【町長】今後も必要な物品を確保し、濃厚接触者などについては、職員の増員をして別の

避難スペースも考える。

【西尾】集落の防災設備は防火だけでなく、多様な備えが必要になってくるのではないか。

【町長】補助対象の物品については相談に乗りたい。

【西尾】防災監が1年近く不在である。現在の状況はどうか。

【町長】専門知識を有し、町の土地勘などさまざまな条件があるが、適切な人を見つける。

町内経済の 活性化のために

町長

企業ニーズで整備する

【西尾】大山町は県内で4市に次いで工業も盛んである。先人のお陰で誘致を進めてきた高田、所子工業団地も空き地がない状況である。

誘致については地の利を生かした努力とそのタイミングが成功のキギである。

在宅勤務の導入を考える企業は、環境が良く土地の安い地方に来やすいのではないか。

今後の経済活性化の取り組みはあるか。

【町長】県と連携し、企業の地方進出の動向など情報収集に努めている。

【西尾】受け手側の準備



高田工業団地に最近進出した企業

備やニーズに合う条件整備は早急にすべきと思うが、どうか。

【町長】海外に工場をつくる企業も多い。国内で進出する企業は少なく、誘致合戦が激し

いなかで、先行投資はかなりのリスクがある。進出される企業のニーズによって整備をするやり方もあるのではないかと思う。



門脇 輝明 議員

IT化する教育現場の対応は

教育長

ICT支援員の配置などで対応している

【門脇】GIGAスクールの目的などの情報共有が必要だが、研究や研修の体制は。

【教育長】配置したICT支援員が各校を訪問し、意見交換、研修している。

【門脇】利活用が進んでいる民間のノウハウを導入できないか。

【教育長】ICT支援会社と委託契約し、ノウハウを導入している。また、PC端末導入時や、県教育研修センターと連携し研修した。

【門脇】研修内容が非常に多いと思うが、時間や体制は十分か。

【教育長】機器を使う技術力の違いが課題だ。必要な事項から研修内容を決めていく。

【門脇】先進的なグループで研究し、その教員を中心にした研修体制を組んでは。

【教育長】まだ考えていないが、参考にした。

教育長

教育方向の一致や課題の共有などだ

【門脇】教育委員会が幼児期から中学校卒業まで一貫して責任を持つ体制は本町独特だ。

【教育長】目的は保小中の連携強化だ。本町教育の基本理念をより充実、具現化するためには、幼児期からの教育が大切である。成果は、めざす教育の方向性の一致や課題の共有、小学校へ入学する際のスムーズな移行などだ。

【門脇】小規模保育所と隣接保育園の関係は。

【教育長】合同保育の機会を設ける。



小規模保育所の建設始まる

町の教育体制の目的や成果は

地域密着型福祉施設の拡充・整備は

町長

必要性を総合的に判断する

【門脇】町内の介護老人福祉施設について、町が対応すべき課題は。

【町長】利用者増加に対応可能な事業所の拡充や人員確保が課題だ。第8期介護保険事業計画の審議の中で議論する。

【門脇】県内町村では高い方とされている介護保険料の問題を含めた、町民を対象とした地域密着型介護老人福祉施設の拡充・整備についての考えは。

【町長】今後必要なサービスマスの推計をふまえ、必要性も総合的に判断する。



地域密着型施設は常に満床の状態



大森 直治 議員

さらなる新型コロナ対策を

町長

必要な支援は検討を続ける



30人以上の学級では密接が気になり

【大森】新型コロナ感染症は7、8月に第2波が到来した。県内では、4月の4人から8月には22人に急増した。コロナ禍での生活は長引くだろう。町内の医療機関や介護施設の経営悪化はないか。今後の支援は。

【町長】減収による経営悪化はない。悪化すれば支援策を検討する。

【大森】支援後の実態調査と支援策の継続は。

【町長】事業者の声をくみ取り、必要な支援は検討を続ける。

【大森】国保税と介護保険料の減免措置の状況はどうか。周知は十分か。

【町長】前者は44件、後者は31件。通知書にチラシを同封するなどして周知している。

【大森】町内小中学校の教室内の密接を解消するために、30人以上の学級を少人数学級にしないか。

【町長】6学級増えることになるため、教室の確保や教員増加分の予算を考えれば、非常にむずかしい。

一般ごみ処理構想への考えは

町長

構想を進める必要がある



この施設の稼働もあと12年か

【大森】西部広域行政では、西部のごみ処理施設を1カ所に集約する構想が、12年後に供用開始予定で進行中である。

この構想にはさまざまな問題があるにもかかわらず、議会の議決を得ることなく、10月末までに「各市町村において広域化実施可否の決定」を迫っている。この構想に対してどう考えているか。

【町長】西部圏域では平成13年度に「可燃ごみ処理広域化基本計画」が策定された。ごみ処理の広域化、集約化構想は処理効率、経済性、環境保全性を

達成できる。この構想を進める必要があると考える。

【大森】10月末までの決定は拙速であり、決定の撤回か延期を求めないか。

【町長】平成16年度に

西部全市町村で議決され、ゴミ焼却施設の事務は西部広域行政で処理するとされた。それ以来、15年が経過しているの、改めて各市町村の意向を確認するものである。



近藤 大介 議員

「身内に甘い」 どう改善する

町長

第三者評価も検討する

【近藤】 第5次大山町行財政改革大綱および集中改革プランの策定にあたり、本年2月行財政改革審議会の答申が町長に出ている。答申書の付帯意見にある、職員定員適正化計画の早期策定の求めをどう受け止めているか。

【町長】 審議会の答申では、「定員適正化計画が策定・公表されておらず、何を根拠に人件費を計上して財政計画を策定しているのか、信ぴょう性を損なう事態」と指摘を受けている。定員管理の指標を今年度中に作成したい。

【近藤】 町が行う事務事業評価は、「身内に甘い」と厳しい指摘もあった。どう改善していくか。

【町長】 厳正な事務事業評価になるよう、外部の第三者による評価も検討している。

【近藤】 新型コロナウイルス感染症予防に、部屋を加湿し、のどの粘膜の防御機能を高めることが推奨されている。学校や保育所で、新型コロナウイルスやインフルエンザの流行を防ぐため、各教室に加湿器を設置

教育長

設置は

考えていない

できないか。

【教育長】 文科省は、1時間に1〜2回の換気を推奨しており、子どもたちも頻繁に教室を出入りする。必要十分な湿度を維持するのはむずかしく、加湿器の設置は考えていない。

学校・保育所に加湿器を



感染予防のため、こまめに手洗い

滞納対策を一元的に

町長

職員配置ができずむずかしい

【近藤】 過年度未収金が数年間同額のままあがっている案件もあり、監査委員から対策を講じるようたびたび指摘されている。

税以外の過年度滞納金の徴収について、すべて滞納対策室で一元的に行うのはどうか。

【町長】 徴収担当者は、それぞれの債権の知識を習得し、取り扱い方法などを熟知する必要があるので、さらなる職員配置も困難であり、徴収の一元化はむずかしい。



滞納対策室がある本庁舎



岡田 聰 議員

新型コロナ対策の さらなる充実を

町長

必要な支援策を展開していく



苦しいひとり親世帯への支援を

【岡田】全世界に未曾有の惨禍をもたらしている新型コロナ、長期化は避けられない。

これまでの対策を検証し、さらなる施策を打ち、町民の命と暮らしを守らねばならないと考えるがどうか。

【町長】商工会などと連携しながら、アンケート調査なども活用し現状把握に努めている。

今後、必要な支援策を展開していく。

【岡田】学校などの水栓自動化は感染防止に有効と考えるが、実施

しないか。

【教育長】具体的な整備計画はないが、感染の状況をふまえて検討したい。

【岡田】本当に困っている人々への支援が行き届いているか。

【町長】多くの町民が恩恵を受けることができる各種支援策の充実で、生活を支援することにより担保できると考えている。

【岡田】ひとり親世帯への支援は。

【町長】県の制度「ひとり親世帯臨時特別交付金」の活用を進める。

就任時の行政課題達成は

町長

合併後初の 人口社会増を達成した

【岡田】町長就任当初、「最大の行政課題は人口減少であり、特に現役世代の流出で後継者不足や地域活動が継続できないなどの問題が発生している。現役世代を引き止める、あるいは帰ってきてもらう施策が必要である。」と答弁された。

この課題の達成はできたのか。また、将来にどう繋げるか。

【町長】就任以来、人口減少対策としての子育て支援策や、移住定住策により、平成30年度は合併以来初めてとなる人口社会増を記録し、令和元年度の1年間でも同じく人口社会



社会増の一因となった新団地

増を達成した。また、将来人口推計よりも、令和2年度で1215人減少を食い止めた。ひと・くらし・しごと創生総合戦略の施策

展開で、人口社会増年間30人、合計特殊出生率1・95をめざし、持続可能な大山町をめざす。



大原 広巳 議員

コロナ禍で避難所対応は

町長 体制を強化する

〔大原〕旧小学校区単位に、拠点避難所が必要でないか。

〔町長〕災害規模に応じて検討する。

〔大原〕避難所対応の職員体制は。

〔町長〕主に保健福祉センターなわ所属の職員だったが、本庁舎所属の職員も加わり強化した。

〔大原〕災害避難指示は、空振りを恐れず早めに出せないか。

〔町長〕警戒レベル3で避難を開始し、4で完了する。逃げ遅れる人が出ないように、迅速に判断していく。

〔大原〕自治会での防災訓練や会合が自粛となり、要介護者の確認が困難になっている。

〔町長〕支え合いマップの作成、更新が必要であり、社協と連携して推進したい。皆が集まらなくても、隣近所の情報を確認していただきたい。

幼児教育の今後は

教育長

保小中の連携を強化したい



保小中連携で健やかに

〔大原〕幼児教育論は。

〔教育長〕生涯にわたる力の基礎が培われる大切な時期で、人間形成にとって重要である。

〔大原〕小規模保育所の運営方針は。

〔町長〕指定管理も選択肢として考えているが、当面は直営で準備していく。

〔大原〕幼児教育論は。

〔教育長〕保小中の連携をさらに強化していきたい。

〔大原〕保育所での休日対応や時間延長などの検討は。

〔教育長〕保育の充実に努力しているが、むずかしい。

省力化支援の反響は

町長 反響は大きかった



機械更新でまだまだ頑張りたい

〔大原〕小規模農家農業省力化支援事業と集落営農支援事業の応募状況と反響は。

〔町長〕8月末時点で、小規模事業は150人、集落事業は6組織で着手、15組織が協議中である。どちらも反響は大きかったと感じている。

〔大原〕中小規模農家支援として、コロナ禍での営農継続に良かったと思うが、認定農業者や法人などに対象を拡大してみないか。

〔町長〕対象者を限定せず拡大することは、むずかしい。



米本 隆記 議員

加工所の活用は

町長

国との協議後に公募する

【米本】恵の里公社は農産物処理加工施設を使って加工品づくりをしていないはずだが、施設の現状はどうなっているのか。

議会にはその後の利用方法について説明が無かったと思う。今後どうするのか。

【町長】「コロナ禍にあつて国との補助金返還などに時間がかかっている。国との協議が済まない」と公募もできない。協議が整い次第、希望者を募り活用する。

【米本】女性団体など町民に使用させることはできないか。

【町長】国との協議が長引けば民間業者に貸し出しするのに時間がかかる。

いずれにしても、すぐに貸し出しできる状態には無い。

町道の草刈りは

町長

委託などで対応している

【米本】草が生い茂っている町道が見受けられる。もしも、事故でも発生したら行政の責任になりはしないか。

草刈り作業員が道端で休憩中に車で跳ねられたというのをマスコミで知った事がある。管理方法はどうか。

【町長】業者、集落に委託などし、町道383kmの33%128kmを除草している。しかし、ほとんどの町道は年1回刈りであり、さらに伸びたところは道路維持作業員によって対応している。



対面通行ができない道路

次期4年間は

町長

続けて頑張りたい

【米本】公約の大筋は「人口減少対策と集落に元気」だったと感じている。しかし、集落に活気とまではできていないような気がする。

公約は町民との約束だ。できなかった説明も必要ではないか。

【町長】本町に移住する、戻ってくるという流れを進めることで、各集落の衰退を止めることができると思う。

【米本】まだ道半ばと感じるが、次期4年間で担う考えは。

【町長】続けさせていきたい。頑張りたい。



続投表明する町長



野口 昌作 議員

耕作放棄地の推移と対策は

農業委員
会長

パトロールにより 減少傾向にある

〔野口〕耕作放棄地の推移は。
〔農業委員会会長〕農地利用状況調査によると、再生可能な面積は平成29年度が117㌥、30年度が89㌥、令和元年度は84㌥となっており、減少傾向にある。
〔野口〕耕作放棄地を出さない対策は。
〔農業委員会会長〕農業委員、農地利用最適化推進委員によるパトロールと所有者への働きかけ、「人・農地プラン」の実質化で担い手への集積・集約化を進める。

〔野口〕対策の成果は。
〔農業委員会会長〕担い手への農地集積が平成29年度1643㌥、30年度が1673㌥、令和元年度は1675㌥と少しずつ増えている。
〔野口〕農家の作業や経費の負担軽減がはかれる農業公社を提案する考えはないか。
〔町長〕現段階では考えていない。「がんばる農家プラン」、「人・農地プラン」により支援を行い、担い手を育成する。



なくそう耕作放棄地



政治倫理審査会からの報告

※大山町議会議員政治倫理条例とは…

議員として遵守すべき政治倫理基準や、議員がそれらに反する行為をした際に調査請求することができる規定を定めた条例のこと。

※政治倫理審査会とは…

議員が政治倫理基準に反する疑いがあるとき、有権者は10人以上、議員であれば2人以上の連署で議長に調査請求できる。その際、議長は直ちに政治倫理審査会を設置し調査を付託しなければならない。審査会の職務は、主に疑義についての調査・報告を行うこととなっている。

「大山町議会議員政治倫理条例」にもとづき、7月9日に提出された調査請求書への報告は以下のとおりです。

1. 調査請求の対象となった議員

大山町議会議員 西山富三郎

2. 調査請求の対象となった疑義の内容

当該議員は6月定例会の質疑で、落札業者の固有名詞や従業員数などをたずねた。

また、同定例会の別の質疑で、「たい焼きや氷水を販売したりは、暴力団の方も行う場合もあるでしょうが、個人の行う場合もあるでしょう」と発言した。

3. 調査結果

上記の発言は倫理条例には抵触しないという結論に達した。

4. 付帯意見

今回の調査請求は、このようなことを二度と起こさないよう提出されたものであり、言動には十分に注意されたい。

7月臨時会

7月15日の臨時会で、一般会計補正予算など4議案を可決しました。

一般会計補正予算では、新型コロナウイルス感染症への対策事業が10項目と補正予算の多くを占め、質疑が集中しました。

質疑

全児童生徒にタブレットの購入

【門脇議員】タブレットで辞退者があるが、理端末の耐用年数は。更新にはまたしつかり予算を使うのか。

【幼児・学校教育課長】耐用年数は6年程度である。

国の補助金と地方創生臨時交付金を使うが、更新時の国の支援は未定である。

【米本議員】指名入札

福祉センターだいせんの空調工事

【野口昌議員】冷暖房工事は、夏以降に工事するののか。

【福祉介護課長】9月中旬頃に工事予定である。

一般会計補正予算

小規模農家へ草刈機の補助金

【大森議員】自走式草刈り機に限定した理由。

申請者が多かった場合、増額も考えているか。

成人式の開催

【吉原議員】場所を名和トレセンに変更する

【町長】コロナの感染拡大状況によるが、相当早い段階での決断はな

学生応援の事業

【近藤議員】似た事業を地域自主組織がやっている。家賃補助や授業料補助などの支援策を今後検討しないか。

【企画課長】学生への支援を検討していく。

新型コロナウイルス対策全般

【西尾議員】一過性ではなく今後につながるような施策を考えているか。

【町長】一番必要な取り組みは、町内で経済循環をどう進めるか

【町長】臨時交付金の対象外の事業でも、町民の生活の支援になる取り組みなら、さまざまな財源を活用して取り組む。

中長期的な施策は、



自走式草刈り機

8月臨時会

8月20日の臨時会で、一般会計補正予算など4議案を可決しました。

一般会計補正予算の質疑・討論では、学校給食補助金に論議が集中しました。

質疑

一般会計補正予算

感染防止事業

〔西尾議員〕536万円の事業費だが、今後どれだけ備蓄して、どう活用するのか。
〔健康対策課長〕15万枚を追加購入して、合計20万枚備蓄する。医療機関や介護施設だけでなく、必要に応じて町民へも配布したい。避難所などでも活用したい。
〔門脇議員〕マスクの事業費だが、今後どれだけ備蓄して、どう活用するのか。全部を備蓄しないで、家庭に逐次使ってもらい、使った分を購入して更新する方法はどうか。
〔健康対策課長〕町民一人に10枚配布した。15万枚必要である。更新の方法は、意見をふまえて検討する。

学校給食費の全額無償

〔池田議員〕町内の学校に通っていない養護学校やフリースクールに通学する家庭への助成はないのか。
〔幼児・学校教育課長〕給食を提供する町内の学校の児童生徒の保護者が対象である。
〔町長〕対象外になる家庭には、どんな支援ができるか検討したい。
〔加藤議員〕3150万円もの予算で給食費を無償にする理由は。それによってどのような効果が生まれるのか。
〔町長〕子育て世代へのコロナ対策補助がなかったから。
経済的な負担を軽減して、保護者に休暇を取ってもらい、子どもとの触れ合いを多くする。それによって、子どもや家庭のストレスを解消してもらう。
〔吉原議員〕本来に困っている人を調査して、そこへの施策が必要ではないか。
〔町長〕いろいろな所からの声を聴き、調査できるものは調査をして、実態に合わせた細かい支援策を提案する。
〔近藤議員〕子育て世代の経済的困り感の把握のため、給食費の滞納状況は。給食費を集金する学校の負担は。
〔町長〕給食費は今年度だけか。全額無償化は今年度だけか。
〔幼児・学校教育課長〕現在、滞納がある家庭はない。集金の事務負担は聞いてない。
〔町長〕給食費の補助はコロナ対応なので、今年度限りである。

障害者施設のリモート環境整備

〔野口俊議員〕この事業の詳細な説明を。成をする。補助率は3分の2、上限は1事業所20万円。
〔福祉介護課長〕通信環境の整備費用に助

討論

〔反対…近藤議員〕今回の給食費補助は、要保護世帯・準要保護世帯、養護学校やフリースクールに通う生徒が補助の恩恵から外れる。それを避けるには、現金給付がそれに準ずる施策を検討すべきである。
〔反対…加藤議員〕本当に困っているのかわからない世帯にまで臨時交付金を充てて、給食費の無償化をするのは不適切である。
この財源を無償化に使うなら、本当に困っている世帯にしてほしい。
〔賛成…門脇議員〕給食費全額無償には問題があると思う。ただ、教育委員も賛成している。足りないところはフォローしていくと町長は話した。反対をして足を引っさる必要はない。



一食あたり小学生286円、中学生346円

事務事業評価を実施

各常任委員会は議会改革調査特別委員会の決定にもとづき、9月定例議会の決算審査とあわせ事務事業評価に着手しました。

事務事業評価の手順

- 1 所管する事務から評価事業を抽出
- 2 必要性・公共性・費用対効果・成果に点数付けと、評価コメントを記入
- 3 個人の評価を委員会の意見にまとめ議長に提出
- 4 議長は委員会からのシートをまとめ、町長に改善意見として提出
- 5 町長は意見を検討し次年度予算化などへの対応状況を議会に報告
- 6 委員会は最終総括

令和2年度各常任委員会の評価事業

総務常任委員会評価事業名 …… ①デマンドバス運転業務委託料

教育民生常任委員会評価事業名 …… ①学校給食

②放課後児童クラブ

経済建設常任委員会評価事業名 …… ①イベント補助金

公職選挙法が一部改正

なり手不足が続く町村議員の選挙の現状を、少しでも改善することをめざし公職選挙法改正が、先の国会で成立した(令和2年12月12日施行)。

自治体の判断で、選挙用自動車、ポスター、政策ビラ作成の3点セットに公費負担を導入できる。これまで配布が認められてこなかった政策ビラを、公営化に合わせて解禁した点と、供託金15万円が新設された。

議会からのお知らせ

6月定例会以後の議会の動きなどをお知らせします。

今秋の『議員と語る会』は中止

本町議会では年2回開催している「議員と語る会」について、コロナ禍の関係から取り止めとします。

議会は皆様のご意見や声をお待ちしております。
ぜひお寄せください。

4議員が自治功勞で受賞

本町議会議員在籍3期の議員4人は、8月25日（臨時議会開催日）に本町議会議場で11年有余にわたり議員活動を通じて町村自治の振興発展に寄与した功績として、鳥取県西部町村議会議長会、小谷会長から表彰されました。

例年は西部町村議会議長会主催の、町村議員全員が集まる研修会で表彰式が実施されますが、今年はコロナ禍で研修会が中止になったため、該当者在住の町村議会での表彰となりました。

おめでとうございます



左から、大森正治議員、杉谷洋一議員、野口昌作議員、米本隆記議員



みんなのひろば

声



高橋 優歌
(中山中3年)

下も向かず
明日人

今年、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、楽しみにしていた修学旅行が中止になり、個人的にとてもショックを受けていました。運動会も無観客での開催。猛暑の中のマスク着用、友達とは距離をとり、例

年とは違うかたちでの練習の中で、「暑いけど頑張ろう」という友達への励ましの言葉が飛び交っていることに気づきました。身体と身体の距離は離れていても、心の距離は確実に縮まっていました。私達生徒は、笑

顔を忘れず、一生懸命前を向き、頑張ったと思います。
全校が一つになって作り上げた運動会への思いは、見に来ることもできなかった保護者の方々にも必ず伝わったと思います。辛い時のほうが多いコロナ禍での日々ですが、こんな状況だからこそ、友達や仲間と声を掛け合い、前を向いて、明日に向かって進んで行きます。



船木 大知
(名和中3年)

日本人の
団結力

最近、新型コロナウイルスの影響で目まぐるしく世間が変化していることが誰の目からも見てわかります。そんな中で僕が感じているのは、日本人の団結力の強さです。4月に発令された緊急事態宣言の時から、

移動自粛や店舗の休業要請など、多くの規制がかかった中で生活が始まりました。そんな中で大山町でも商品券が各家庭に配られ、活動自粛していた店舗に対して町民全員が協力してい

所など、なにもがあっても助け合えるような団結力を感じました。これからもまだ続くであろう新型コロナウイルスの感染拡大を止めるためにも、細かい所で団結し、助け合うことが大切だと思います。



岡田 達也
(大山中3年)

あたり前

「密です」との言葉は今ではあたり前のように使われていますが、「コロナウイルスが流行っていないけれど、耳にするのはなかったと思います。東京を中心に感染者の報道がされはじめたころは他人事だと思っていたけ

れど、色々な部活の大会が中止になったり、学校行事等が無観客で縮小されたりしていく中で、身近なことだと実感するようになりました。学習の成果を地域の方々や保護者の方に見ていただく機会が減り、とて

もくやうし思いになりました。しかし、僕たちのために、「コロナ禍の中、多くの先生たちのおかげで最後の総体や体育祭をすることができ、とても思い出しに残り、感謝しています。今はあたり前のことができていないことが多くあります。しかし、下を向いてばかりではいけないので、今できることを精一杯楽しみながらやりきっていきます。

秋風に揺れるコスモス

あとがき

新型コロナウイルスによる影響が収束する見込みもありません。令和2年度も半ば過ぎてしまった。

そのような折、智頭町議会の議員報酬大幅引き上げのニュースが舞い込んだ。のニュースが舞い込んだ。のようだ。全国的に町村議員のなり手不足は深刻で、特に子育て世代のなり手は著しく少ない。たしかに、税金などを納めた残りの額は、同世代の平均より低く、専業はむずかしい。住民の理解を得るのは容易ではないが、町の未来を考え最良な判断ができる材料、機会を提供することも必要ではないか。

加藤

【発行責任者】 議長 杉谷 洋一

【広報常任委員会】 委員長 大森 正治

副委員長 池田 幸恵

委員 西山富三郎

委員 岡田 聡

委員 西尾 寿博

委員 野口 昌博

委員 大杖 正彦

委員 加藤 紀之

議会だよりのご感想をお寄せください!